





塔
寺
記

石性油
 清
 年
 有
 徳
 教

樂刻卷之下

讀書

凡讀書其法一曰心
 林よのこころを
 し世にふんるる
 湯と心道の法
 境界として其
 らいまりき一日

理なる事なるいふようめいなくして大なる事
なる人し古の事と云ふたれいゆやましく古
今天地は固くならくたる理なるものも
通る事と云ふしや

この事ゆへに歴史よりなることしむる事ゆへに
いふにゆへにやましく射たれいゆにやましく又な
くしむる事ゆへにやましく射たれいゆにやましく
又なくしむる事ゆへにやましく射たれいゆにやましく

まゝの事ゆへにやましく射たれいゆにやましく
あまの事ゆへにやましく射たれいゆにやましく
たうの事ゆへにやましく射たれいゆにやましく
るの事ゆへにやましく射たれいゆにやましく
しむる事ゆへにやましく射たれいゆにやましく
ゆへにやましく射たれいゆにやましく射たれい
ゆへにやましく射たれいゆにやましく射たれい
ゆへにやましく射たれいゆにやましく射たれい
ゆへにやましく射たれいゆにやましく射たれい

るべしなりはこれありて事ありていふこと
き事よあん又夫のあり人とて多岐ありて
しめ給つるに其人よりよく其徳とありん
給つる理もあなり一才学よあわくきありは
然めて世よわん事とていふありていふ
業の思わゆる年とていふ一富きありていふ
よかりありにありていふ文章とていふ
志ありていふありていふありていふ

とわんていふ事とていふありていふ

書よありていふありていふありていふ
しめ給つる理もあなり一才学よあわくきありは
然めて世よわん事とていふありていふ
業の思わゆる年とていふ一富きありていふ
よかりありにありていふ文章とていふ
志ありていふありていふありていふ



かきしび人のきなりし思ひのちかきし
 び

或人のしるしの賢乃と云ふ一乃師とて筆硯
 紙書と書きしむの友とてあけられは
 ともいふ道ありてよふ多し又煙火乃ち
 せらしてヒカゲ暑くも大なるを焚かり
 ありしよのけとあしひかされとあつねさ
 八事あけそ切とてぬいせけよのちりけ

いあしとめんうるに多き一は河とくくさるる
つよは福とあつとくあしり

河はあつとく月花とてあそひたりこの
物とあつとく其あつとくあつとくあつとく
のあつとくあつとくあつとくあつとくあつとく
ら他のあつとくあつとくあつとくあつとくあつとく
さるるあつとくあつとくあつとくあつとくあつとく
人もあつとくあつとくあつとくあつとくあつとく

は是のく其信とのくただけ一は氏のあつとく
よ多くのあつとくあつとくあつとくあつとくあつとく
くあつとくあつとくあつとくあつとくあつとくあつとく
やあつとくあつとくあつとくあつとくあつとくあつとく
あつとくあつとくあつとくあつとくあつとくあつとく
とあつとくあつとくあつとくあつとくあつとくあつとく
人れあつとくあつとくあつとくあつとくあつとくあつとく
癡^チ骨^ツ乃そつとくあつとくあつとくあつとくあつとくあつとく

法福

くせの中の人々の心は
おのれを早くする人多く
死は死にありては
七千と古稀といふは
おのれを早くする人多く
死は死にありては
七千と古稀といふは



のしむるにまよふまよふあじりくむのまゝ
しりくむるも昔の人乃あつり来たるを
うらむと思ひしりくむるに
白髪の影あけく又新なるをまけく
同く人としられく富貴なる人あつり
人あり其まよふ乃あつり多し富貴なる人
にあつりすく人とあつりしりくむるに
もまよふるにあつりたる事と

かどやまよふまよふあじりくむのまゝ
多敷十人より平地本いひく事
あつり同く樹木とあつりくむる
いひくむるにあつりたる事
もまよふるにあつりたる事

あつり同く樹木とあつりくむる
いひくむるにあつりたる事
もまよふるにあつりたる事
あつり同く樹木とあつりくむる
いひくむるにあつりたる事
もまよふるにあつりたる事
あつり同く樹木とあつりくむる
いひくむるにあつりたる事
もまよふるにあつりたる事

とくまにあしとぬ布のさる人さる人さる人
のさるく火合はたし其香を思ひやう
今れ世の人と古よりよる事毎よるさ
りのさあしと又さるさるめさるさる若
成思ひ今乃時よるさる一戦國の時よる
事と思ひ今れさ平とさあしと

人さるさるれ付さるさあれさるまをさるの
かのり物ありさあさるさる人のさるさる

秋よあつささわのまよすれいさるさ
れさるさるさるさるさるさるさるさる
さるさるさるさるさるさるさるさる
のさるさるさるさるさるさるさるさる
さるさるさるさるさるさるさるさる
りさるさるさるさるさるさるさるさる
考さるさるさるさるさるさるさるさる
あさるさるさるさるさるさるさるさる

たゞしに臣臣の言を聞きしは其の言に非ざるべし
かゝる言を聞きしは其の言に非ざるべし
乃人し其の言を聞きしは其の言に非ざるべし

人の言を聞きしは其の言に非ざるべし
其の言を聞きしは其の言に非ざるべし
其の言を聞きしは其の言に非ざるべし

考へて其の言を聞きしは其の言に非ざるべし
考へて其の言を聞きしは其の言に非ざるべし
考へて其の言を聞きしは其の言に非ざるべし
考へて其の言を聞きしは其の言に非ざるべし
考へて其の言を聞きしは其の言に非ざるべし
考へて其の言を聞きしは其の言に非ざるべし
考へて其の言を聞きしは其の言に非ざるべし
考へて其の言を聞きしは其の言に非ざるべし
考へて其の言を聞きしは其の言に非ざるべし
考へて其の言を聞きしは其の言に非ざるべし

らんくもらひかゝりし一もむあり
年考く夕日のあかむけのちか〜ぶる人まはらぶ
いふるむれし念むやとん〜とん〜
〜とん〜とん〜易れ難よ〜むるお〜
う〜とん〜のけり大老はる〜むる〜
あ〜とん〜人乃あ〜とん〜ある日用の暮あつあ
れ〜とん〜む〜とん〜あ〜とん〜あ〜とん〜日とあ
らる大老のむけ〜とん〜夕日乃ちよあ〜とん〜あ



けいごま人の考より死のなき事夕向の如く
少くもあるは毛かくまはき帯乃程なれんか
がくせはけはけは常乃程とあるは愚ありぬ
よあといつる毛帯よあも考よりつるとな
きくわつとあつる人のつるきより考よりつり
死よをまはつ時のはるるりぬきりつるはね
乃程ありぬるよ老とあもきと死とくつるは
よらじとま一命とあつるはあり易よあれ

せいまめくあつるつる測めつるは化よあつ
てあつるんは天命令とあつるは又何とつる
つるんをあつるハ便おつるはオチツク獨多るを
あつるあつるんを又新と仁義生イキ死シ後何
あつるんをあつるはあつる人乃あつるはつるか
曹子建の詩よあつる民神の死るはあつる命とあつ
るはあつるあつるんをあつるはあつるあつる
より死かあつる人な一命とあつるは天運よあつる

かみさんいかにやねるよー平生はいついともあがり
よーのpissandoに「おれははこがたーいふわら事
おじいー晩をばいから事ちよー思ひー
はくーい思ひい牛持のい母なるよーい
れいれいをいふーあこがたーい
乃とあらうーいおるかへいりたよーい公の
やこあをいけよあらうありとをた人の身合
あはあけいけいものけいよあまらうあーい又

いいいけいけいけいけいけいけいけいけいけい
たのーいあそもあそもあそもあそもあそもあそもあそもあそも
お事ハよーいあそもあそもあそもあそもあそもあそもあそもあそも
あれハ今ーらのら一日も早く日月とあそもあ
のひが事とくひくあそもあそもあそもあそもあそもあそもあそもあそも
らひあそもあそもあそもあそもあそもあそもあそもあそもあそもあそも
さんあそもあそもあそもあそもあそもあそもあそもあそもあそもあそも
あこするあこするあこするあこするあこするあこするあこするあこするあこする

あつたまらけあけられぬかゝる
まゝ又人よあつたまらけあけられぬかゝる
らゝあつたまらけあけられぬかゝる
まゝあつたまらけあけられぬかゝる
あつたまらけあけられぬかゝる
あつたまらけあけられぬかゝる
あつたまらけあけられぬかゝる
あつたまらけあけられぬかゝる
あつたまらけあけられぬかゝる
あつたまらけあけられぬかゝる

んや

寶永七年臘月

益軒貝原篤信書

樂訓卷之下

時年八十有一

右和語樂訓三卷者益軒貝原先生之所作也
有其族人某者往歲亥寅之夏來遊於洛予
叩其旅館屢蒙示誨一日偶談及此書之事予
不堪欣慕依其人以此其書先生初辭
曰恐文詞之拙而招識者之譏予謂此
亦先生之謙詞而已頻乞而不以遂得許可
乃書捧以公于世焉樂於訓辭可謂天下之
至樂在茲者矣

寶永八年孟春吉旦

書坊柳枝軒茨城信清謹識

初法人心氣
 主凡禮之
 是行
 美
 所

益軒貝原先生編述書目

書林柳枝軒藏版

慎思錄	六冊	點例	二冊	續和漢名數	三冊
大和俗訓	八冊	家道訓	六冊	文武訓	六冊
初學訓	五冊	樂訓	三冊	日本釋名	三冊
三禮口訣	五冊	鄙事記	八冊	菜譜	三冊
京都めくり	一冊	大和めくり	一冊	瀧州めくり	五冊
續法州めくり	二冊	吾嬬路記 <small>東海道</small>	一冊	木曾路之記	一冊
有馬名所記	一冊	日光名所記	一冊	筑前名寄	二冊
吉野山圖 <small>三ノ山</small>	一冊	嚴島圖 <small>三ノ山</small>	一冊	神祇訓	未刻

益軒先生

和學一步	未刻	扶桑紀勝	未刻	日用良方	未刻
格物餘話	未刻	小學句讀 <small>改點</small>	四冊		
農業全書	十二冊	和爾雅	九冊	和漢事始	十三冊
諺州	九冊	孝經釋義便蒙	三冊	同附纂	二冊

享保六辛丑歲

平安六角御幸町茨城多左衛門

平安
 御
 享保六辛丑歲
 茨城多左衛門
 御
 享保六辛丑歲

Fragmentary handwritten text on the left page, mostly obscured by a brown paper overlay and blue tape. Faint characters are visible through the paper.

Blank white page at the top of the right page, partially covered by a yellow paper overlay.

Fragmentary handwritten text on the right page, written in black ink on yellowed paper. The text is partially obscured by a yellow paper overlay.

信
信
信
信
信
信
信
信
信
信

Handwritten characters in the bottom right corner of the right page, possibly a signature or date.

